

4コース レクチャー

歯の保存を極める

— Before selecting implant —

インプラントは、欠損しているところを補うための材料であって、天然歯に代わるものではないという言葉があるように、歯を失った後に口腔機能回復を図るための治療オプションのひとつです。

しかし近年、インプラントの予後が良好となってきた反面、歯を保存することへのこだわりが薄れてきているように感じられます。歯内療法的問題、歯周病的問題、歯根破折、外傷歯、健全歯質の欠如などの問題を抱えた症例に遭遇した場合、それぞれの現症をしっかりと診査したうえで、まずは保存の可能性について熟慮すべきです。そしてたとえ少しでも保存の可能性があれば、あらゆる知識と技術を総動員して全力をもって治療に臨むのが歯科医師としての使命だと考えています。歯内療法的問題では、難治性根尖性歯周炎と診断された症例であっても、マイクロスコープを用いた歯根端切除術の発展や意図的再植術の応用により多くの歯を保存することが可能になりました。また、外傷歯で脱落した歯であっても、条件が整っていれば、再植することにより元の機能を回復することも十分可能です。さらに、たとえ保存が困難な歯が存在した場合であっても、適切な移植歯があれば、自家歯牙移植は、より保存的で生物学的な治療法として非常に有効な手段といえます。インプラントが適用されない若年者の欠損歯列への応用では、自家歯牙移植に勝る治療法はないと考えています。今回のコースでは、歯の保存にこだわる立場からインプラント治療の前になすべき治療について様々な症例を通じて検証してみたいと思います。

日時

8月27日(日)
10:00~16:00

定員

100名

会場

大阪歯科大学天満橋学舎

対象

歯科医師
学生

研修費

歯科医師(会員)10,000円
歯科医師(卒後5年までの会員)5,000円
歯科医師(会費未納者、他大学)20,000円
学生無料

講師

福西 一浩



[略歴]

1986年 大阪大学歯学部卒業
1997年 福西歯科クリニック 開院
2000年 大阪大学歯学部 非常勤講師(口腔総合診療部)
2001年 医療法人 福西歯科クリニック 開設
2006年 大阪大学歯学部 臨床准教授
2008年 5-D Japan (石川、北島、船登、南らと) 設立
2009年 医療法人 宝樹会 設立

[役職]

5-D Japan ファウンダー
日本歯内療法学会 評議員・西日本支部常任理事

[所属学会]

日本歯内療法学会、日本臨床歯周病学会、日本口腔インプラント学会、
日本顎咬合学会、米国歯内療法学会(AAE)、国際外傷歯学会(IADT)

[資格]

社団法人 日本歯内療法学会 専門医(第1996195号)
公益法人 日本口腔インプラント学会 専門医(第414号)
特定非営利活動法人 日本顎咬合学会 指導医(第748号)
特定非営利活動法人 日本臨床歯周病学会 指導医(第52号)
歯周インプラント指導医(第16号)
厚生労働省認可 歯科医師臨床研修施設 指導医
国際外傷歯学会(IADT) フェロー

◎天満橋学舎の会場地図

